



中村 実  
議員

### 健康づくり施設の 適正配置と整備計画 について

健康づくり施設の適正配置と  
整備計画について

質 問

元気な時から健康づくりに  
取り組むことで、長く元気に  
暮らすことが可能となり、結  
果的に介護保険の運営にも寄

与するものと考えているのだが、  
このような健康づくり事業の  
拠点となる施設の活用状況  
や事業状況について伺う。  
また、温泉やプールを活用  
した健康づくり施設の整備を  
進める考えはないか。

市長答弁

健康づくりの拠点として、3  
地域に保健センターが、また、  
昨年度、須沢地区にオープン  
した健康づくりセンターがあ  
る。昨年度の利用者数は、保健  
センターは糸魚川が約7千人、  
能生が約1千人、青海が約1  
千4百人、健康づくりセン  
ターは約8万4千人の利用が  
あった。

また、健康づくり事業や介  
護予防事業は各地域の体育  
館、公民館等を利用して開催  
している。健康づくり事業では  
3種類の運動教室を23か所  
で開催し、延べ約2万6千6百人



古川 昇  
議員

### 糸魚川市の介護施設の 充実について

糸魚川市の介護施設の  
充実について

質 問

介護保険制度は発足から12  
年が経過し、矛盾を抱えなが  
らも制度として確立され、今  
日に至っている。当初の施設

中心の介護から、住み慣れた  
地域での在宅サービスを基本  
にした介護といった、制度方  
針の変化も見受けられるが、  
依然として施設サービスの拡  
充を望む声は大きい。しかし  
施設の増加は保険料の増加に  
直結することから、介護の  
ニーズや地域事情を考慮して

市長答弁

も、慎重な施策が求められて  
いると思うのだが、次の点に  
関して市の考えを伺う。  
・特養、老健施設の拡充計画  
・糸魚川、能生、青海地域ご  
との介護施設の現状と展望  
・認知症対策の重点課題

現在、特別養護老人ホーム  
の増床計画はあるが、介護老  
人保健施設の計画はない。  
施設の配置については、地域  
の偏りも多少感じるが、将来、  
高齢者数も横ばいから減少傾  
向に移るものと考えており、施  
設の拡充は慎重に対応する必

の参加が、介護予防事業では3  
種類の教室を7か所で開催し、  
延べ約2千6百人の参加が  
あった。

なお、現在、プールを利用し  
た健康づくり事業も推進して  
いるが、温泉を活用した施設の  
整備は計画していない。

### 糸魚川市における 特定失踪者について

質 問

特定失踪者問題調査会の失  
踪者公開リストのうち、拉致  
された可能性が高いとされる

要があると考えている。

また、認知症対策について  
は、予防と早期発見、適切な介  
護、治療の普及啓発、地域での  
見守り体制の充実が課題と考  
えている。

### 学校図書館と教育行政の 関わりについて

質 問

思考力・判断力・表現力の  
育成を重視する新学習指導要  
領では、それらの育成の中心  
的な役割を学校図書館が担う  
としているが、市の支援策な

リストには、昭和40年3月失  
踪の市民の名前があるが、同  
会との連携や、国県への働き  
かけの状況について伺う。

市長答弁

特定失踪者問題調査会とは  
現在、特に連携していない。国  
県の働きかけも市独自では  
行っていないが、今後、県との  
連携の中で対応していきたい  
と考えている。

### 《その他質問項目》

総合防災訓練の総括について

どについて伺う。

教育長答弁

各学校は、学校に配当され  
た予算の中で、計画的に学校  
図書等の整備を行っている。  
支援策としては、学校教職  
員の図書館業務の軽減を図  
り、子どもと向き合う時間の  
確保につなげられるように検  
討していきたい。

